

# JACDS 防犯・有事委員会の主な活動内容

## 1. 大量窃盗情報共有

- ・全国9エリアに分け、企業の垣根を超えた大量窃盗情報をメールで随時共有。
- ・いつ、どこで、何が、どのような犯人に、手口などをメール(テキスト)で共有。
- ・46企業、約15,300店舗が参加するネットワーク。情報を受けた企業は未然防止に活用。

## 2. 万引き防止キャンペーン

- ・警察庁、NPO法人全国万引犯罪防止機構の後援を得て、万引き防止ポスターを作成。
- ・関連防犯資料と共にデータまたは印刷にて正会員企業に発信。
- ・毎年、万引きが増加する10月～12月開催し、2024年には第21回目の実施となる。



## 3. 全国不明ロス実態調査

- ・隔年でJACDS会員企業に万引き被害状況、不明ロスの調査を実施。
- ・2022年度は、推計不明ロスが0.32%、2024年度は、推計不明ロスが0.28%(共に加重平均で算出)。

## 4. 警察・団体と連携した防犯活動

- ・都道府県警察からの防犯情報を出店地区の企業に情報発信。
- ・大量窃盗情報には一部の都道府県警察も参加しており、連続した犯行では注意喚起チラシの作成と配布。

## 5. その他

- ・NPO法人全国万引犯罪防止機構と連携し、被害実態や防犯対策の取組は警察行政への報告している。